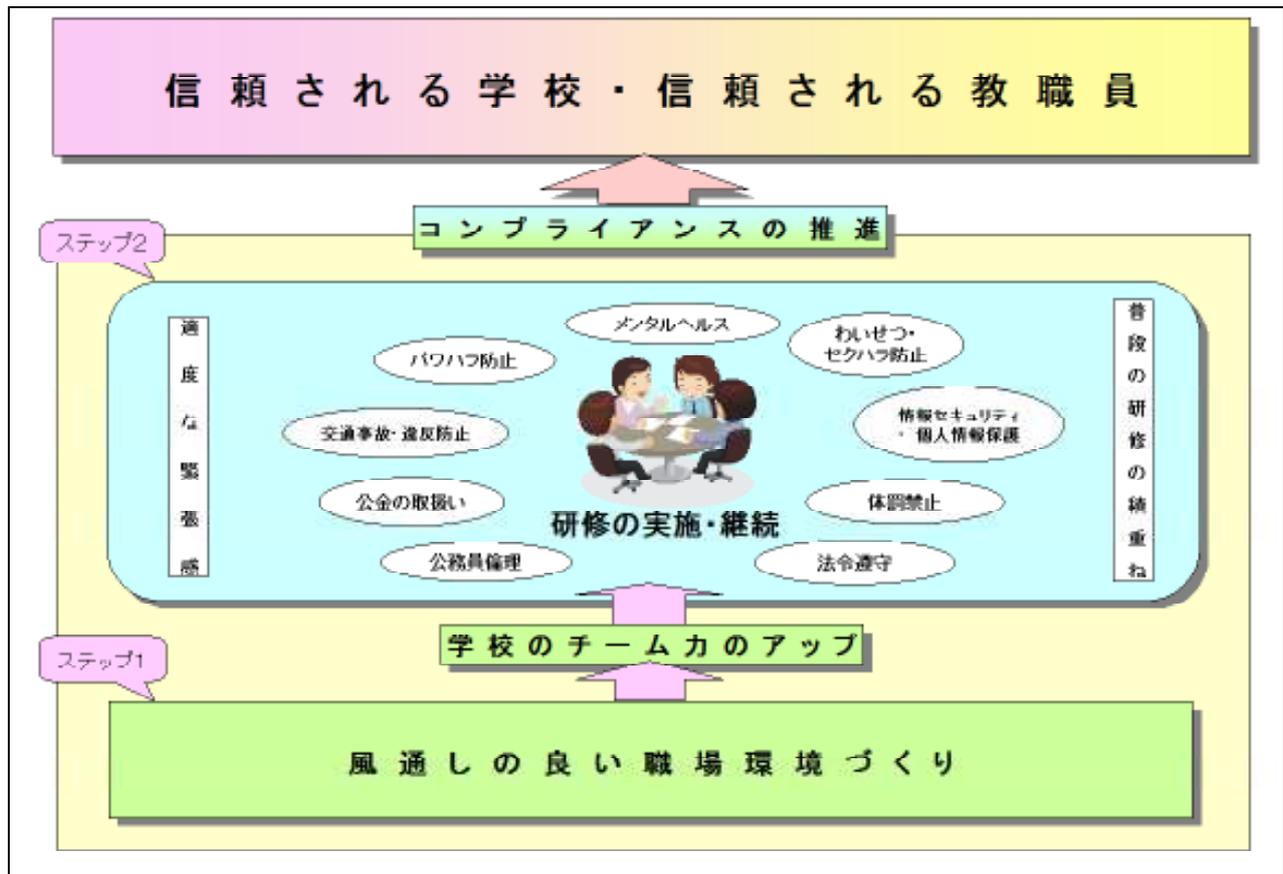


## Ⅳ 風通しの良い職場環境づくりとは

### 1. 風通しの良い職場環境の重要性について



上の図は、信頼される学校や教職員という目標を達成するための、コンプライアンス推進の過程を表現したものです。

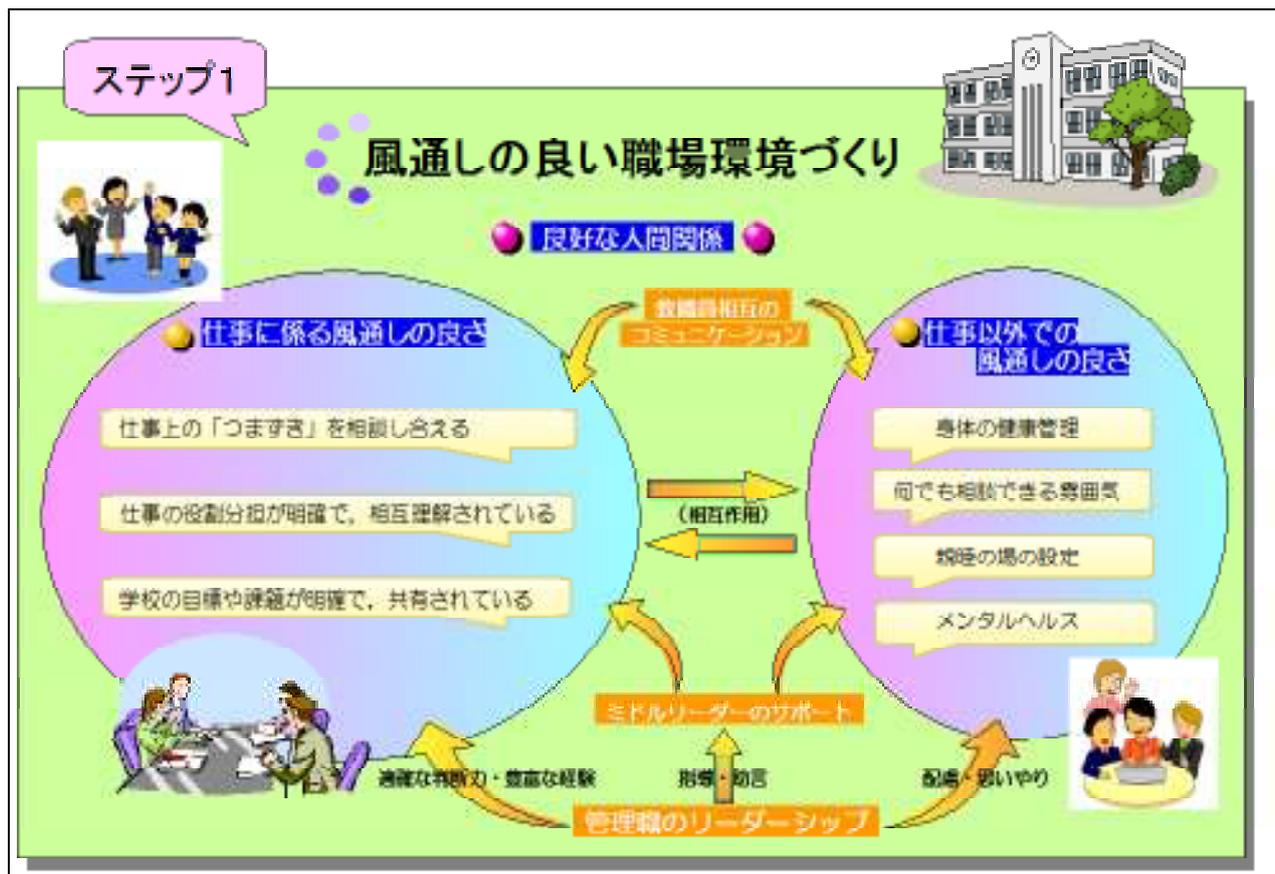
総合教育センターや各職場で実施されている研修、eラーニング等は、**ステップ2**に該当するもので、この4年間で随分と増えたと実感されているのではないのでしょうか。

しかし、このステップを支えているのが **ステップ1** の「風通しの良い職場環境づくり」です。この過程は、職場の「チーム力」を押し上げることにつながり、不祥事の未然防止に役立ちます。また、全ての業務の向上に直結する過程でもあります。しっかりとした **ステップ1** が確立した上で **ステップ2** の効果が期待できるのです。

コンプライアンス推進の取組が始まって4年が経過し、多くの取組が実施されているにもかかわらず、不祥事の根絶に至っていないという現実があります。

そのひとつの原因が、これまでの取組が目に見える **ステップ2** に偏っていたことであると考えると、ここでもう一度 **ステップ1** をしっかりと見直すために、本年度は、コンプライアンス推進のメインテーマを「風通しの良い職場環境づくり」としています。

## 2. ステップ1としての「風通しの良い職場環境づくり」とは



では、「風通しの良い職場環境」というのは、具体的にどのようなものでしょうか。上記の図は、「風通しの良い職場環境」をイメージしたものです。

「風通しの良い職場環境」は、職場における「良好な人間関係」ということに尽きます。「仕事はきつかったけれど、何とか乗り越えられた」という経験は誰もが多かれ少なかれ経験されていると思います。その最大の理由は、学年や教科、担当、あるいは職場全体の仲間にしかりとした「絆」があったからではないでしょうか。信頼できる管理職や同僚がいれば、困難にも立ち向かえるものです。

「風通しの良い職場環境」を創り出すのは職場の全ての教職員です。もちろん立場によって役割は異なります。管理職のリーダーシップ、ミドルリーダーのサポート、教職員相互のコミュニケーション等により、職場全体で取り組まなければ実現はしません。

「風通しの良い職場環境」は、仕事に関わる「風通しの良さ」だけではなく、仕事以外の「風通しの良さ」も必要です。それぞれの「風通しの良さ」は相互に作用し合い、より良い職場環境を創り出します。仕事以外での良好な人間関係が成立していないのに、仕事の「報告・連絡・相談」を呼びかけても難しいし、仕事上での信頼関係なしに、私的に良好な人間関係は望めません。